

地域の魅力発信グループ

地域の魅力発信グループの提案を始めます。

私たちのグループは、広島県の魅力を若者など多くの人に伝えることについて話し合いました。

このことについて、2つの提案をしたいと思います。

提案1 「若者の流出を防ぐための広島県の魅力発信」について

一つ目の提案は、「若者の流出を防ぐための広島県の魅力発信」についてです。

広島県では、若者、特に20代前半の人が県外へ流出する傾向が続いています。また、県の人口についても、国の機関によると、2025年から20年で約40万人も減ると推計されています。このように若者が流出したり人口が減っていくと、私たちが大人になる頃には、広島県は元気をなくしてしまうのではないかと心配になります。

若者が県外へ出ていくのは、やりたい仕事や都会への憧れなど、いろいろな理由があると思います。でも、よく考えてみると、私たち自身も広島の良いところを十分知っていないので、良さを知らないために、県外へ出ていく人もいるのではないのでしょうか。

若者の流出をくい止めるために、広島の良いところをもっと細かいところまで知ってもらうことが大切だと思います。

そこで提案です。広島の特徴や良いところを集めた「広島推しフェス」を開催してはどうでしょうか。

企画や運営に子供や若者も参加して、県内各地や広島県の「推したい」ものを集めます。食べ物や文化を紹介したり、広島やその地域ならではの楽しめること、とっておきのスポット、地元の人々の魅力など、地域の良さを伝える出し物や発表を行います。

例えば、市町ごとに特産品を使った屋台を出したり、出し物でご当地キャラの紹介や写真撮影などを行います。屋台は学生でも買いやすい価格を設定します。

若者を始め、運営する人と来場する人の双方が広島の良いことに気付けますし、県外の人にも魅力を発信できると思います。

開催に当たっては、学校のグラウンドや公園を一時的に使用させてもらったり、期間限定でシャトルバスを運行すれば、移動に便利で誰でも参加しやすくなると思います。

私たち子供もSNSでの情報発信やポスター作りを通じ、宣伝することが可能です。

このような取組により、広島に住むことの魅力を再発見する人が増え、若い人たちが住み続けたいと思えるようになり、県外からも広島県に興味を持つ人が増えてほしいと思います。

答弁（知事）

「若者の流出を防ぐための広島県の魅力発信」についてお答えします。

皆さんからお話があったとおり、県の統計調査によりますと、本県の転出超過の約半数を、進学や就職を理由とした20歳から24歳の若者が占めている状況であり、若者の転出超過は大変大きな課題であると考えています。

このため、昨年度、若者が進学や就職する際に、広島に住む場所を選ばなかった理由などについて調査を行い、その結果を踏まえて、今年度から、県内企業や大学の魅力をしっかり知ってもらうこと、半導体関連企業や、デジタル系企業など、若者に魅力的な産業を集めること、都市や地域の魅力を高めることの3つの観点で取組を進めているところです。

こうした中、多くの若者に、広島県で働きたい、暮らしたいと思っていただくためには、御提案いただいた「広島推しフェス」のように、広島県の良さを県内、県外の若者に知ってもらうことがとても重要だと考えています。

皆さんもご存知のとおり広島県には、たくさんの魅力があります。

ものづくりの技術・技能を生かした、自動車や半導体関連などの製造業を中心とした多様な産業、世界トップレベルの技術やトップシェアを誇る、オンリーワン・ナンバーワン企業と言われる特色ある企業、24の大学・短期大学があり、文系・理系、ほぼ全ての学問分野を学ぶことができる教育環境、また、広島市や福山市などの都市機能と、瀬戸内海や中国山地などの多様で豊かな自然の魅力の両方を、短時間の移動で楽しむことができる環境などです。

こうした広島県が持つ魅力を伝えるため、例えば、移住希望者を対象としたセミナーや、ホームページなどによる、広島県での魅力的なライフスタイルの紹介や、県内企業の若手社員から任命した70名を超える「ひろしま就活サポーター」を通じたSNS等による企業情報の積極的な発信、といった、様々な取組を行っているほか、若者の皆さんに「広島県ならやりたいことに挑戦できる」、「広島県なら自分の希望する暮らしが実現できる」といった、ポジティブなイメージを持ってもらえるような取組を新たに進めていくことにしています。

これからも、こうした様々な取組を進めることによって若者に選ばれる広島県を目指していきますので、議員の皆さんも、是非、周りの人も巻き込んで一緒になって広島県の魅力を高め、広めていただきたいと思います。

提案2 「地域の魅力や伝統をいろいろな人に伝える広島県」について

二つ目の提案は、「地域の魅力や伝統をいろいろな人に伝える広島県」についてです。

県内23市町の人口は、令和2年の国勢調査によると、19の市町で前回調査より減少しています。人口減少が進んでいる地域では、その地域で生まれた子供も、高校を卒業すると出て行ってしまうという話も聞きます。

一方で、そうした地域には魅力的なものが多くあるので、それらをアピールし、地域を元気にできないでしょうか。

例えば、広島県には、「いが餅」や「鯛めし」など様々な郷土料理があります。たまに学校の給食で出るものもありますが、県内には知らないものも多くあると思います。

また、県内各地の伝統的工芸品は、地域の大きな魅力となっていますが、作っている地域の多くで人口が減少しています。熊野筆の社会科見学では、職人の数が減ったり高齢化していることを知りました。このままでは、伝統を引き継ぐことが難しくなるかもしれません。これからも伝統を引き継いでいくため、伝統的工芸品の良さをもっと多くの人に知ってもらう必要があると思います。

そこで提案です。地域の魅力を体験できる取組を行うことにより、若者を始め県内外の人に魅力をアピールするのが効果的だと思うので、郷土料理の魅力について、農業体験や漁業体験と組み合わせてアピールしてはどうでしょうか。まずは地域特産の農作物の収穫、餅つきなどの加工や、鯛など魚を釣る体験をし、それを使って郷土料理を調理して食べてもらいます。郷土料理のことを食材から知ってもらえますし、地域の人に一緒に参加してもらうことで、地域の人々との交流もできます。

また、伝統的工芸品についても、実際に作ってみるイベントを行ったり、体験できる施設を作って、いろいろな人に来てもらい、良さを実感してもらってはどうか。熊野筆は作って絵を描いたりする体験ができますが、こうした取組をもっと広く行い、伝統文化に興味を持つ人が増えれば、その中から、職人になりたい人も出てくると思います。

多くの人に訪れてもらえば地域が活性化しますし、地元の人と交流することで、地域

の魅力を体感でき、移住を考える人への後押しにもなるのではないのでしょうか。

また、私たち子供も、ウェブサイトやSNSで情報発信できるので、多くの人に魅力を伝えていけたらと思います。

答弁（農林水産局長）

まず1つ目のご提案である「郷土料理の魅力と農業・漁業体験」についてお答えします。

広島県の豊かな気候や風土、歴史に育まれた食の魅力を、実体験を通じて県内外の方々に伝えていくことは、ひろしまへの理解や愛着を深めるとともに、人の交流や結びつきを促していく観点から、重要であると考えています。

このため、県内の自治体や事業者において、若者や旅行者等を対象として収穫や漁獲による食材の確保から調理までを体験できるプログラムが実施されているところであり、一例としましては、三原市では、生産量日本一の広島産レモンの収穫とレモンを使ったスイーツ作り体験や、福山市では、底引き網漁等の漁業体験と郷土料理である鯛そうめんづくりを組み合わせた体験プログラムなどが実施されています。

県としましては、若者が楽しく学べるより魅力的なプログラムが生み出されるよう、多様な事業者と連携しながら検討を進めるとともに、こうしたプログラムを県や観光連盟のホームページやSNS等を活用して積極的に情報発信し、より多くの若者に広島県の食の魅力を実感してもらえよう取り組んでいきます。

次に2つ目のご提案である伝統的工芸品についてお答えします。

各地域の生活の中ではぐくまれた熊野筆や福山琴をはじめとした多彩な伝統的工芸品は、地域の魅力や文化を伝える貴重な財産であり、今後もしっかりと引き継いでいくことが重要であると考えています。

一方で、伝統的工芸品は、製造者の高齢化や、後継者不足といった課題に直面していることから、県内外の方に、その魅力を知っていただく機会をつくり、興味を持っていただくことにより、文化や技術を継承する人を確保するとともに、伝統産業の活性化を図る必要があると考えています。

このため、広島県では、県ホームページや庁内展示による紹介や、製造事業者の工芸品展への出展支援、ひろしまブランドショップTAUでの広島仏壇の金箔貼りをはじめとした製作体験や熊野筆の製作実演イベントなどを通じて、広島県の伝統的工芸品の価値を知ってもらい、販売促進につなげる取組を行っているところです。

県としましては、引き続き、こうした取組に加え、SNSでの情報発信を強化するなど、地域の魅力や文化を伝える貴重な財産が将来にわたって引き継がれるよう取り組んでいきます。